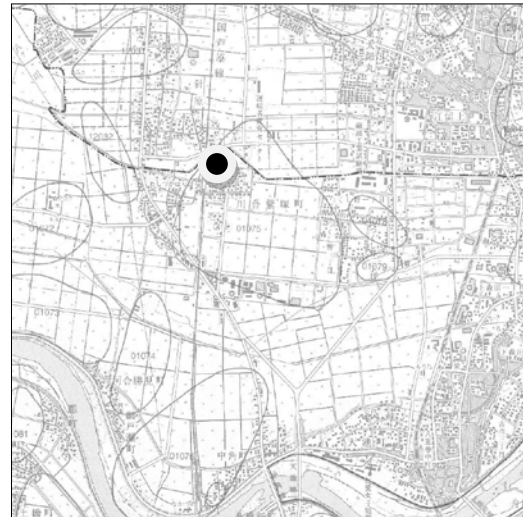


5. わしづかいせき 鷲塚遺跡

所在地：福井市川合鷲塚町地係
調査原因：鷲塚針原駅改修工事
調査期間：平成 27 年 12 月 18 日・21 日
調査主体：福井市文化財保護センター
調査面積：70 m²
時代：古墳



位置図 (S=1/50,000)

調査の概要 調査は、えちぜん鉄道鷲塚針原駅のプラットフォーム建設予定地の畑地で、地表下約 60cm において古墳時代の遺構を確認しました。

遺構 竪穴住居 2 棟、溝 2 条、多数の柱穴が見つかりました。竪穴住居 1 は、地面を掘り窪めた穴の平面形状が約 5m 四方と推測されます。深さは 40cm あり、床面に粘土が敷かれていました。竪穴住居 2 は平面の大きさが住居 1 と同じ 5m 四方であると推測できます。

遺物 竪穴住居の床面から古墳時代の土師器の甕や高杯の破片が少量出土しました。

まとめ 今回の調査では、現集落内において、初めて古墳時代の竪穴住居を発見し、集落跡であることが明らかになりました。

(三澤繁忠)



写真 1 調査風景(写真右奥が鷲塚針原駅)



写真 2 遺構検出状況 (南から)



写真 3 竪穴住居 1 (北から)

竪穴住居 1

竪穴住居 2

溝



写真 4 竪穴住居 1 検出状況（南から）



写真 5 竪穴住居 1 床面状況（南から）

0 5m

第 1 図 遺構平面図（上が北）